



花さき山



タイトル文字：滝平二郎

育児コンシェルジュ

毎週土曜日

10:00~14:30

育児のお悩み相談が出来ますよ(*^-^*)
お子様にオススメの本も紹介します。

☆おはなし会も開催中☆

11:00~11:30

※専門スタッフが対応します。

お誕生日おはなし会
 日時：8月24日（土）
 11:00~
 絵本の読み聞かせや
 手遊びであそぼう！
 8月生まれの子をみんなでお祝い
 しよう。お誕生日じゃない子も参加
 OK！
 ※事前申し込み不要です。
 当日、明野図書館視聴覚室に
 お越しください。



映画会

子ども向け

「映画 すみっこぐらし
青い月夜のまほうのコ」

(上映時間約 65分)

日時：8月17日（土）

10:00~

場所：明野図書館 視聴覚室

事前申し込み不要です。



「ラゲリより愛を込めて」

(上映時間約 134分)

日時：8月18日（日）

① 10:00~ ② 14:00~

場所：明野図書館 視聴覚室

事前申し込み不要です。

※2回とも内容は同じです。



大人のストーンアート

日時：9月8日（日）

13:00~15:00

場所：明野図書館 視聴覚室

内容：小石に絵を描いて、思い出のペーパー
ウェイトを作ります。

対象：大人もしくは小学4年生以上（8名）

申込：事前申し込み制

受付：8月6日（火）~9月5日（木）

明野図書館カウンターまたは

電話（52-2466）で。



○明野図書館カレンダー○

2024年8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

休館日はありません。



五葉〜い スタート!

明野五葉学園特集



花さき山くらら No.442

ご好評の明野五葉学園特集、今回は教務主任の植木正先生です。

「言葉の意味を旅する」

植木 正

学生の頃、辞書で言葉の意味を旅することにはまっていた時期がありました。

例えば、「東」を辞書で引くと、「春分の日朝、太陽の出る方角の称（新明解国語辞典・第七版）」と書かれています。ここで、「春分の日」はどういう意味なのかが気になり、調べてみます。すると、「二十四節気の一つ。陽暦三月二十一日ごろ。昼と夜の長さが等しくなる。（同）」と書かれています。さらに、「二十四節気」や「陽暦」の意味を調べてみる、といった具合に、ある言葉について書かれている意味からさらに別の言葉の意味を調べていくのです。それを私は、「辞書で言葉の意味を旅する」と呼んでいました。この旅をすると、いろいろな言葉に触れることができるので、自分自身の知識や語彙力を増やすきっかけになりました。

ただ、旅は路頭に迷うこともあります。ある時、「上」を調べると「高い（方にある）こと（所）」とあるので、今度は「高い」を調べると、「基準とする位置から上の方向への隔たりが比較の対象とするものより大きいと認められる状態。」と書かれており、「上→高い・高い→上」というループ状態に陥ることもありました。

旅をしていると新たな発見もあり、「おおあたり＝見事に当たること」の隣には「おおあな＝（競輪・競輪などで）予想されなかった番狂わせ（による高配当）」があるなど、現実の世界も辞書の世界も、この二つは隣り合わせなのだを知り、おかしく思ったりもしました。

近年はインターネットの普及により、言葉の意味は簡単に調べることができ、書籍の電子化も進んでいます。しかし、紙媒体には紙媒体のよさがあり、自分自身の手でページをめくることが、自らの意志で新たな発見を呼び込むことにつながります。それは辞書でも小説でもどんな書籍でも一緒だと思います。最近忙しさを理由に読書をさぼり気味なので、夏休みは久しぶりに「言葉の意味を旅する」とともに読書に勤しもうと思っています。

（うえき ただし／明野五葉学園 教務主任）

クイズに挑戦！！

【今月の問題】

めがね
眼鏡が日本に伝えられたのはいつ？

※答えが待ちきれない方は→



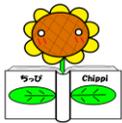
先月号のクイズの答えは、「フィリピン」です

☆8月の特集コーナー☆

「怪談」

脳から涼みを感じませんか？
ツバキ系の納涼本を集めてみました。

苦手な方はお控えください…☆



Web サイトのみでの公開ですが、今回の花さき山には、号外があります。

教務主任の植木先生のご協力により、スタートして4か月の明野五葉学園の様子をご紹介します。9年生まで一緒に楽しそうですね。

「義務教育学校として」

植木 正

明野五葉学園が開校して4か月が経ち、1学期が終わりました。この1学期には、1年生から9年生までが同じ学校に在籍する義務教育学校としてのメリットを生かし、異学年交流を活発に行っていくためのさまざまな取組が行われました。それらの取組について2つご紹介したいと思います。

1つ目は、生徒総会です。今年度から生徒総会を「若葉五つ会」と称し、前期課程からも5・6年生が参加できるようにしました。「私達の学校をよりよくするために、どのようなことをしたらよいだろうか？」について考えたパネルディスカッションでは、後期課程の生徒だけでなく、前期課程の児童からもさまざまな意見が出され、活発な議論がなされました。そして、「花壇を作ること」と、「前・後期課程の交流イベントを行うこと」が決定されるなど、児童生徒が一緒になってよりよい学校を作っていこうとする雰囲気を醸成することができました。

2つ目は、前述の「若葉五つ会」で決まった「前・後期課程の交流イベント」です。1学期は2回催され、1回目に「じゃんけん列車」、2回目に「広島に送るための折り鶴の協同制作」を行いました。「じゃんけん列車」は、音楽が止まった時に目の前にいる人とじゃんけんをし、負けた方が勝った方の後ろに並びます。じゃんけんをして結果に一喜一憂し、その後学年を問わずに笑顔で列を作って並ぶ姿はとても微笑ましかったです。そして、最後までじゃんけん勝ち続けた児童生徒を全員で拍手して賞賛するなど、活動を通して一体感を生み出すことができました。また、「広島に送るための折り鶴の協同制作」では、上級生が下級生に折り鶴の折り方を言葉と所作で丁寧に教える姿が見られました。最初は苦戦していた下級生も教えられるうちに手つきがよくなり、「やった！見て！1人で鶴が折れたよ！」と喜ぶ姿が見られるなど、9年一環教育のよさを生かした活動にすることができました。



2学期以降も運動会や文化祭など、さまざまな学校行事が催されます。今後も9年一貫教育の強みを生かした取組を行っていき、明野五葉学園が今以上に子ども達の笑顔あふれる素晴らしい学校にしていきたいと思っています。

(うえき ただし / 明野五葉学園 教務主任)